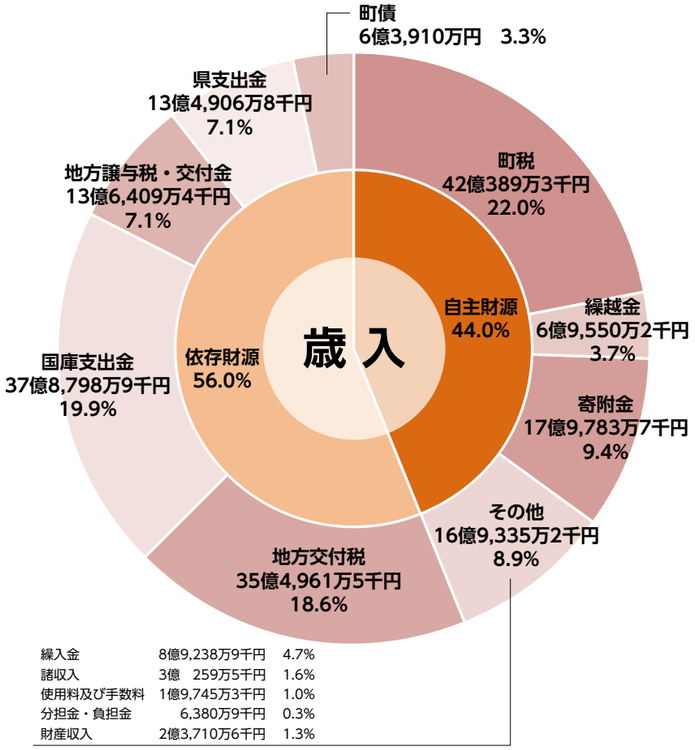
令和7年度 決算報告

令和7年度の決算が、令和8年9月定例議会で審議され、9月24日(木)の本会議において認定されました。一般会計歳入歳出決算額は、歳入総額190億8,045万円(前年度比14.3%増)、歳出総額178億6,663万7千円(前年度比10.5%増)となり、形式収支は12億1,381万3千円の黒字となりました。

財政構造の弾力性を表す指標である経常収支比率は、人事院勧告に伴う給与などの改定による人件費の増加、全国的な物価高騰などにより前年度から2.9ポイント悪化し95.7%となりました。町の貯金である基金の令和7年度末残高は、ふるさと宇美町応援寄附金の大幅な増加などに伴い、5億5,046万7千円増加し、42億199万2千円となりました。町の借金である町債残高は、前年度から3億3,251万7千円減少し、83億8,458万円となりました。

問 企画財政課 財政係　☎ 934-2247　FAX 934-2371

歳入　190億8,045万円



町民一人あたりの決算

収入合計	519,563円	支出合計	486,511円
町税	114,473円	議会費	2,921円
内訳 町民税	55,005円	(議会運営)	
内訳 固定資産税	48,490円	総務費	123,358円
内訳 軽自動車税	3,507円	(町の全般的な管理運営)	
内訳 町たばこ税	7,471円	民生費	190,868円
繰入金(貯金の取崩し)	24,300円	(児童・高齢者・障害者の福祉)	
国県の補助金	139,883円	衛生費	38,456円
地方交付税など	133,801円	(健康の維持増進・ごみ処理等)	
町債(借金)	17,402円	労働費	645円
その他	89,704円	(就業対策等)	
		農林水産業費	3,097円
		(農林業の振興)	
		商工費	376円
		(商工業の振興、観光促進)	
		土木費	23,148円
		(道路・下水道・公園の維持管理)	
		消防費	14,461円
		(消防・防災)	
		教育費	55,475円
		(学校運営・スポーツ文化振興等)	
基金残高	114,421円	災害復旧費	6,134円
(町の貯金)対前年度	+15,450円	公債費	27,572円
町債残高	228,313円	(町の借金の返済金)	
(町の借金)対前年度	-7,955円		

※令和7年4月1日現在の人口:36,724人で計算

経常収支比率
95.7%(対前年度 2.9ポイント悪化)

基金残高(町の貯金)
42億199万2千円(対前年度 5億5,046万7千円増)

町債(町の借金)
83億8,458万円(対前年度3億3,251万7千円減)

■特別会計決算額(特定の事業を行うために一般会計と区別して処理する会計)

会計名(事業名)	歳入	歳出	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	37億2,815万4千円	36億8,431万3千円	4,384万1千円
後期高齢者医療特別会計	6億9,472万5千円	6億5,923万7千円	3,548万8千円

■公営企業会計決算額(自治体でも法律で収益が認められている公営企業の会計)

会計名(事業名)	区分	収入	支出	収支差引額
上水道事業	収益的収支※	7億8,902万円	7億1,420万円	7,482万円
	資本的収支※	5,468万円	3億4,423万3千円	△2億8,955万3千円
流域関連公共下水道事業	収益的収支※	9億5,755万3千円	8億6,594万2千円	9,161万1千円
	資本的収支※	3億7,036万円	6億1,473万2千円	△2億4,437万2千円

※ 収益的収支:上下水道料金などの収支　資本的収支:施設建設などの収支　※ 端数処理の関係上、歳入歳出(収入支出)の額と差引額が一致しない場合があります。

令和7年度の主な事業

◆総務費

物価高騰対応生活応援給付金支給事業費	3億6,225万1千円
地域コミュニティ支援事業	6,536万5千円
オンデマンドバス(のるーと宇美)運行事業	4,810万1千円

◆民生費

町立保育園運営事業	2億4,237万5千円
後期高齢者医療特別会計繰出金	1億6,787万9千円
定額減税調整給付金支給事業	1億3,729万3千円
物価高対応子育て応援手当支給事業	1億2,903万9千円
放課後児童健全育成事業	8,854万6千円
低所得世帯支援給付金支給事業	1,734万3千円

◆衛生費

ごみ処理事業	6億7,313万2千円
予防接種事業	1億1,136万5千円
上水道事業会計繰出金 (3か月基本料金減免分など)	5,367万3千円
母子衛生事業	4,672万7千円

◆労働費・農林水産業費・商工費

働く婦人の家運営事業	2,369万7千円
森林機能保全事業	3,414万5千円
商工業活性化事業	918万3千円

◆土木費

流域関連公共下水道事業会計繰出金	3億9,440万円
道路橋りょう維持管理事業	1億8,531万2千円
公園管理・整備事業	9,103万7千円
都市計画街路整備事業	3,983万3千円

◆消防費

防災対策事業	2,640万5千円
消防団活動支援事業	7,438万9千円

◆教育費

武道館(外壁・屋根および内部等)整備改修事業	2億8,195万6千円
総合スポーツ公園管理事業	7,474万2千円
就学援助事業	7,037万8千円
物価高騰対応給付事業(小学校給食費値上分)	3,085万円
物価高騰対応給付事業(中学校給食費値上分)	494万8千円

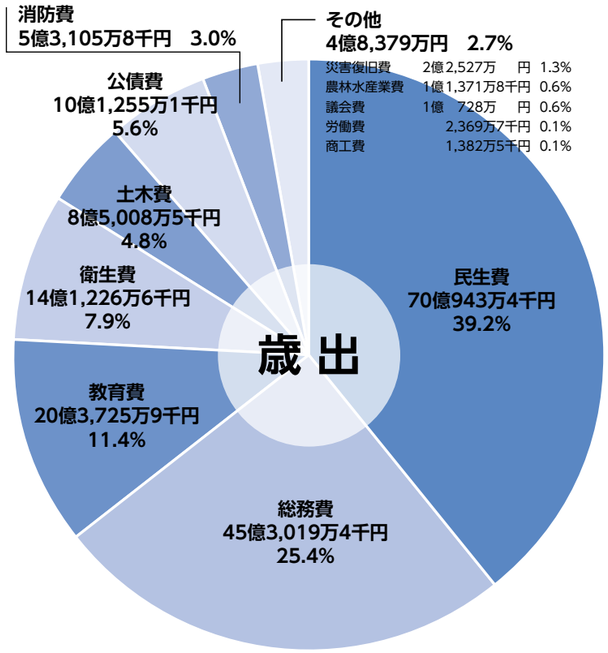
◆災害復旧費　2億2,527万円

◆公債費　10億1,255万1千円

前年度比について

前年度との比較において、歳入の増額は、ふるさと宇美町応援寄附金が14億2,118万7千円増となったことや、児童手当給付費負担金、町道竹ヶ下～桜ヶ丘線道路災害復旧工事に伴う国庫支出金が6億2,027万8千円増となったことによるものです。歳出の増額は、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、物価高対応子育て応援手当事業を行ったほか、制度改正による児童手当の増に加え、保育所等整備事業費補助金が増額したことなどにより、民生費が3億2,530万6千円増となったことによるものです。

歳出　178億6,663万7千円



健全化判断比率と資金不足比率

財政の健全度を測る4つの指標である健全化判断比率と公営企業の資金不足比率について、算定結果を下記のとおり公表します。令和7年度決算に基づく町の健全化判断比率などはいずれも早期健全化基準(=黄信号)以下の水準を保っています。

	宇美町	早期健全化基準(黄信号)	財政再生基準(赤信号)
実質赤字比率	−(※1)	13.60%	20.0%
連結実質赤字比率	−(※1)	18.60%	30.0%
実質公債費比率	6.6%	25.0%	35.0%
将来負担比率	−(※2)	350.0%	
資金不足比率	−(※3)	20.0%(経営健全化基準)	

※1　黒字のため「−」と記載しています。
※2　将来負担すべき額より充当可能財源が多かったため「−」と記載しています。
※3　資金の不足がなかったため「−」と記載しています。



改修された武道館